

週報

Weekly Report

RI テーマ
奉仕を通じて平和を

2012-2013 年度
国際ロータリー会長 田中作次

国際ロータリー第 2720 地区 **熊本南ロータリークラブ**
Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club

例会日 / 毎週月曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場 / 〒860-8536 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内
 創立日 / 昭和 33 年 9 月 1 日 (承認 昭和 33 年 11 月 24 日)
 会長 / 浅山弘康 幹事 / 漆島典和 クラブ広報委員長 / 吉原コウイチ
www.smate.jp/k-minamirc



第5回例会記録(通算第 2533 回)

平成 24(2012)年 8 月 6 日

斉唱 国歌 君が代

ロータリーソング「われらの生業」

会長報告(浅山弘康君)

8 月 6 日、本年度 5 回目、通算 2533 回目の例会です。ガバナー公式訪問等終わって、今回から本当の例会のスタートです。よろしくお願ひいたします。本日の来訪者はいらっしゃいません。会長報告をいたしますが、今回から理事会の報告は私の方から行います。

理事会(7 月 30 日)報告

1. 東北大震災への義援金から九州北部豪雨への支援へ
内容・・・検討後報告
2. 新入会員 吉行邦夫君 損害保険ジャパン熊本支店長
入会承認
3. 新年度予算については今日(8/6)の理事会で

台北大同ロータリークラブ訪問は、8/9(木)から 8/14(火)
 ・青少年交換学生 4 名(藤木さらさん、藤木せらさん、藤木もえさん、濱田有紗さん)に随行
 ・東北大震災見舞いに対する御礼
 の目的での訪問です。以上会長報告です。

幹事報告(漆島典和君)

1. 熊本市国際交流会館より
8 月催し物案内の送付
2. ガバナー事務所より
ポリオ募金のお願いと募金箱の送付

8 月の結婚記念日とお誕生日おめでとうございます!

今日の例会

1. 今日の歌
2. 来訪者紹介
3. 会長・幹事・各委員会報告
4. 会員卓話 濱田定勝君

今月・来月の行事

- 8/27 親睦活動委員会 IM@ひろのすけ
- 9/14 ゴルフコンペ@あつまるレーク CC

例会変更のお知らせ

- 宇城 RC~合同例会の為時間・場所変更
[変更前] 9 月 7 日(金) 18:30~
[変更後] 9 月 7 日(金) 12:30~
- 宇城 RC~合同例会の為場所変更
[変更前] 9 月 28 日(金) 12:30~
[変更後] 9 月 28 日(金) 18:30~
- 玉名 RC~定款に基づき休会
[日 時] 8 月 16 日(木) 12:30~
[場 所] ユウベルホテル
- 玉名 RC~玉名 RC 空手大会の為
[変更前] 8 月 30 日(金) 12:30~
[変更後] 8 月 26 日(日) 8:30~
[場 所] 九州看護福祉大学体育館

出席報告(現王園敏伸君)

会員数	出席数	出席率	前々回(1/16)修正出席率
60名	42名	73.68%	86.20%
出席規定適用免除者 8名			欠席記録免除者 0名
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

新入会員自己紹介(3回目)



坂本幸樹君
・趣味について

委員会報告

●親睦活動委員会

会員誕生祝・結婚祝



[誕生祝]

馬場大介 君	8. 1
坂本研一 君	8. 21

[結婚祝]

馬場 啓 君	8. 20
杉田辰彦 君	8. 28

- 1)8月6日暑気払い兼新入会員歓迎会
- 2)ゴルフコンペ開催

●寿崎奨学会委員会

本日(8月6日)理事会開催
議題:公益法人への移行

パストガバナー報告(寿崎肇君)

湯布院で行われましたインターアクト年次大会に参加してまいりました。報告致します。今年は参加者が少なかったように思いました。参加 RC 熊本5RC 大分10RC.参加 IAC は熊本5IAC 大分10IAC でした。IAC は12歳から18歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。インターアクトクラブ(IAC)は少なくとも2つの社会奉仕プロジェクトを行い、そのうち1つは、国際理解と親善を推進するものとされています。プロジェクトを通じて、インターアクトは地元社会や、海外のクラブと友情のネットワークを築きます。幅広い奉仕活動はインターアクトの活動の真髄です。奉仕活動を行うことで、インターアクト達は、次のような大切なことを学びます。指導力と人間としての高潔さを身につけます。他者を助け、他者を尊重することを身につけます。個人の責任と懸命に努力することの価値を身につけます。国際理解と親善を推進することを学びます。これらの事を身につけるように指導してあげるのがロータリークラブの務めでもあらうと思います。今大会のテーマは「命の大切さ家族の絆」です。夕食後記念講演がありました。講演者は円プリオ大分代表熊谷孝子先生で、テーマは「いのちの出会いを支えて」。講演の前に約30分ビデオで勉強しました。これは卵子の働きなど子宮のビデオで続いてお母さんのお腹の赤ちゃんの写真そして弟が生まれてきます。熊谷先生が高校生に知ってもらいたいことは、今の世代、生命の軽視の真ただ中にある子どもたちへ命の神秘と大切さを理解してもらいたかったのです。10代の親になる人の生まれた赤ん坊が2万3千人。この10年間生まれるはずの赤ちゃん7300万人が産まれてこなかった、とのお話には驚きました。子供が産まれてくるのは70兆分の1。赤ちゃんとしてわかるのが0.5グラム。生まれてきた大切さをよく理解されたと思いました。円プリオ大分とは産みたい妊婦さんと赤ちゃんを支援する東京のNPO法人「円プリオ基金センター」の活動への協力を大分県下で行う団体です。エンブリオとは8週までの胎児の学名だそうです。「お金の赤ちゃん」とは1円を集めて赤ちゃんの誕生を支援することを主な活動としているものとのことです。閉会式前に表彰式があり、ガバナー不在で私代理で表彰状を差し上げ最後の講評をさせていただきました。表彰されたインターアクトクラブの奉仕活動は5月の第1回インターアクト全国大会の高校生にも劣らない素晴らしいものでした。講評で申し上げたことは、IACを提唱しているRCとは、ロータリークラブのメンバーの方々は奉仕を志す方々の集まりのクラブです。私がRCに入会した初めはクラブの色々の方にご指導いただき感謝しております。特に「最も良く奉仕する者最も多く報いられる」のロータリーの標語で学びました。ロータリーは奉仕という言葉であふれています。ロータリー歴が約50年の間に教わった奉仕とは「相手の喜ぶことをやり続ける」これが人生の幸福と事業成功のキーワードです。ロータリークラブの先生方は相手の喜

ぶことをやり続けておられる方々です。これを見習ってこの「奉仕」「相手の喜ぶこと」をやり続け、幸せな人生を送って下さい。とこんな意味のお話を申し上げました。私も国府高校の例会には出来るだけ出席し奉仕活動のお話などさせていただこうと思いました。以上報告を終わります。ありがとうございました。

スマイルボックス(坂本研一君)

○濱田定勝君

吉原コウイチ前ローターアクト委員長には次代を背負う青少年の育成に深い理解と情熱を持って会の発展の基礎となる人材の育成に努力されました。これからも日本の伝統と歴史を大切にする誇り高き青少年たちの育成に益々貢献されることを祈念してスマイル致します。

○渡邊秀章君

前回、ベストスマイル賞第2位を頂戴しありがとうございました。また本日は暑気払い&新入会員坂本さん(真面目そうな方)の歓迎会ですが、都合で欠席させていただきます。お詫びのスマイルです。

○渡邊秀章君

8月4日(土)、NTT西日本熊本支店として、火の国まつりと八代球磨川まつりにそれぞれ約100名づつ参加しました。私は昨年火の国まつりに参加したので今年は八代球磨川まつりに参加。隊長が1番くじを引いたので、本部席前からスタートし、1時間半踊り続け、とても心地良い汗をかきました。来年はどちらに参加しようか迷うほどどちらも楽しいです。

○寿崎肇君

先日宮崎でOBが200名ほど集まり私の米寿のお祝いをしていただきました。ちょっと早いお祝いでしたが黄金色の帽子と同じ色のちゃんちゃんこを着せてもらって88歳の気分を味わいました。ありがとうございました。元気で奉仕を続けようと思いを致しました。

新入会員卓話(平尾豊幸会員)



「女性向けの賃貸住宅」

私は平成3年11月末日で、前の勤務先を退職いたしまして、平成7年2月1日に大和ハウス工業株式会社に中途入社するまで約3年間、遊んでいたような生活でした。遊んで朝帰りしている時、ちょうど天神では

出勤と逆行しているのに

気付き、コンビニエンスストアで就職雑誌を買って、たまたま、そこに大和ハウス工業の求人があったので応募して、31歳で入社した次第です。赴任地は長崎県諫早市で、職種は集合住宅営業所の営業として、大和ハウス工業の第一歩を踏

み出しました。そして平成16年10月1日より長崎支店集合住宅営業所の所長に就任しまして、平成19年10月1日から熊本支店に転勤し、熊本支店集合住宅営業所の所長となり、平成24年3月1日より熊本支店の支店長に就任し、現在に至っております。分からない事やまだ右も左も分からないところがありますが、何卒、今後ともよろしく願い申し上げます。

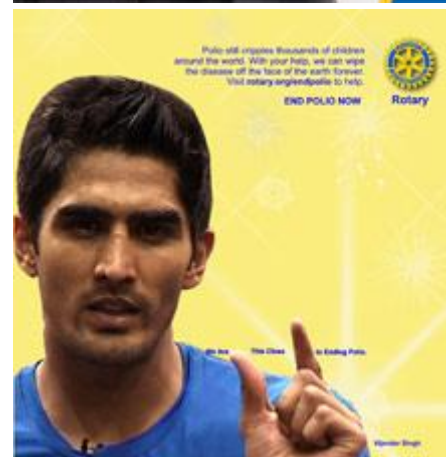
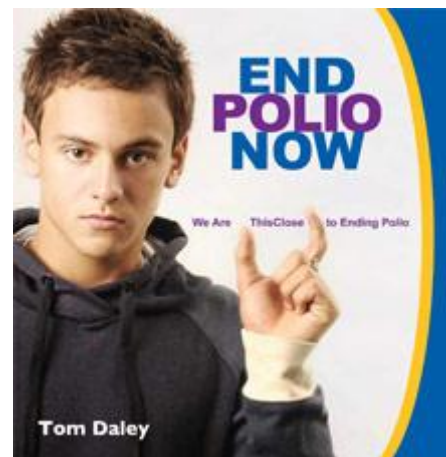
(詳しくは配布資料をご覧ください。)

国際ロータリーホームページより <http://www.rotary.org/>

オリンピック選手がロータリーのポリオ撲滅活動を応援

記事: Arnold R. Grahl

国際ロータリー・ニュース: 2012年8月7日



ポリオ撲滅のための「This Close」キャンペーンに協力する、英国とインドのオリンピック選手たち。

ロンドンで2012年夏季オリンピックが開催され、世界有数の選手たちが集まる中、一部の選手が、ロータリーのポリオ撲滅活動へのサポートを表明しています。

英国プリマスのロータリアンの働きかけにより、オリンピック飛び込み選手のトム・デーリーさんとトニア・カウチさんが「This Close(あと少し)」のポスターに登場しています。このポスターは地元プリマスの町中に掲示されているほか、ガーナのオ

オリンピック選手が使う練習施設にも掲示されています。選手たちが「This Close」キャンペーンに協力するきっかけとなったのは、プリンプトン・ロータリー・クラブ会員のダレン・ハンズさんが、選手の写真を撮影するカメラマンの知り合いを通じて、選手のコーチと連絡を取ったことからでした。コーチは、選手たちに協力を呼びかけることに快く応じてくれました。「トレーニングの妨げにならないように、早朝にポスター用の写真撮影を行いました。撮影した写真を使って、さまざまな大きさのポスターやポストカードを作り、地元の報道機関やロータリー・クラブのウェブサイトにも掲載してもらいました」

第 1290 地区はさらに広報補助金を利用して、カウチ選手の登場するポスターを、デボンとコーンウォールの地域一帯に広めています。オリンピック期間中に選手を応援すると同時に、ロータリーのポリオ撲滅活動を推進し、会員増強にもつながると期待されています。この広報キャンペーンは大好評だと話すハンズさん。「[グランサム・ロータリー・クラブの水泳マラソン](#)と、私たちのキャンペーンは、4 月に RIBI(グレート・ブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー)から広報賞を授与されました」

英国のオリンピック選手のほかにも、インドの選手たちが「This Close」キャンペーンに参加しています。種目も多岐にわたり、ボクシング、重量上げ、レスリングの選手が集まっています。2008 年北京オリンピックでレスリングの銅メダルを獲得したスシル・カム選手は、子供の親に向けてメッセージを発信しています。「1988 年、インドでは毎日 500 人の子供たちがポリオに感染する状況でした。現在は、この国でポリオ撲滅を達成するまであと少しです。このポリオとの闘いに打ち勝つために、皆さんの協力が必要です」

同じく北京オリンピックでボクシングの銅メダルに輝いたビジエンダー・シン選手もポリオ撲滅活動への協力を訴えています。「予防接種を受ければ、子供がポリオで身体麻痺を患うことはありません。身体を自由を奪われることのないよう、どうか子供たちに必要な予防接種を行ってください」

オリンピックの機会に

ロータリアンは、そのほかにもオリンピックにちなんだ活動を行っています。英国のレッド・ブリッジ・ロータリー・クラブ会員のトニー・ベッツさんは、第 1130 地区の企画で、ボランティアのホストファミリーとなり、オリンピック観戦に米国フロリダ州から訪れたロータリアン夫妻を自宅に迎えています。ロータリアン歴 6 年のベッツさんは、いつもロータリーの国際性に関心があり、世界中の人々との出会いを楽しみにしているそうです。「入会以来、私が毎年、国際大会に出席するのもそれが目的です。ロータリーでは地元クラブを超えた出会いや活動の可能性が広がっています」

RIBI オリンピック委員会の先導の下、ボランティア 300 人以上が集まって選手村の清掃を行う活動では、ロータリーの活動のために募金を集めることができました。募金の一部は、地元の複数の小児ホスピスを支援するために使用されます。

選手村に加え、オリンピック競技終了後の清掃も行う予定です。第 1260 地区ガバナーのデビー・ホッジさんは、「ロータリーとオリンピックはどちらも『より平和な世界を築く』という共通の精神を持っている」と話します。

米科学誌、ポリオ撲滅でのロータリーの役割を紹介

ロータリー・ニュース:2012 年 8 月 14 日

『Science』誌8月号に、ポリオ撲滅におけるロータリーの役割が紹介されました。

パキスタンでのポリオ撲滅に関する記事では、ロータリーがカラチ地域の 7,000 人の子どもを対象にアンケート調査を行い、そのうち 4 人がまだ予防接種を受けていないことを突き止めて、これらの子どもに予防接種を行ったというエピソードが紹介されています。さらに、同地域でロータリーは、ユニセフおよびコココーラ・パキスタン社と協力して大規模な清掃プロジェクトを行い、160トンに上るゴミを処理しました。パキスタンのポリオ・プラス委員長であるアジズ・メモンさんは、「この国でのロータリーの活動はポリオ撲滅に留まらない」と述べます。

【例会予定】

8月27日(月)外部卓話 児玉公道様

(九州中央リハビリテーション学院長)

9月3日(月)新入会員卓話 塩井泰明君

9月10日(月)ローターアクト卓話

9月24日(月)外部卓話 濱田龍郎様

(九州ラーメン党理事長)